



大いちょう

平成29年 1月 6日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成28年度 No.9 048 (829) 2737

酉年のはじめに

校長 石山大介

明けましておめでとうございます。平成29年 酉（とり）年の始まりです。

「スタートが肝心」とか「初めが肝心」とよく言われます。スタートのつまづきを取り戻すことが、なかなか難しいという先人たちの経験からくる教えです。どんなに早く走ることができても「よーい、ドン」で出遅れたり、走る方向を間違えたりしたら勝負になりません。普段の生活でも一日のスタートの朝は大切です。皆さんの人生のスタートは、この世に生まれ出た時ですが、その時は、「これを頑張るぞ」「将来は・・・」などと言葉で目標を表現することは不可能でしたね。

人は、言葉を覚えたりいろいろな経験をしたりして、自分の考えや意志をもち表現できるようになってきます。小学生のみなさんは、たとえ一年生でも、自分の考えをもつことができますはず。高学年になれば、なお一層、自分の考えをしっかりとつことが大切です。節目節目に、自分がどのように生きていくかなど、目標を立てて生活することが将来の自分をつくります。

今日の始業式は3学期の始まりであると同時に、平成29年の始まりでもあります。その始まりの「よーい、ドン」に、自分の生きる方向を具体的にする目標を立て、よいスタートを切ってほしいと思います。

3ヶ月後には、皆さんは学年が一つずつ上がります。進級するのです。一年生には、弟や妹ができて、お兄さんお姉さんになります。六年生は中学生になります。飛躍するための仕上げをする大切な学期です。

足の速いうさぎは、カメと駆けっこをします。うさぎはカメをどんどん離していきますが、油断をしたうさぎは・・・。

これは皆さんもよく知っている、イソップ物語の「うさぎとカメ」のお話です。

遅くてもかまわないのです。目標に向かって走り続けてください。歩き続けてください。

* 作者本人の解説
私が年の初めに祝って述べる言葉は、外にはありません。どの人も皆、新しくなりなさいということだけです。人の心が新しくならねば、年ばかり改まっても何にもなりません。

かの人も
此の人も皆あらたまれ
春の初めに祝ぐことは
是れ

(与謝野晶子)

どのご家庭も良き新年を迎えられたことと思います。学校におきましても職員一同、心新たに「より高き」を求めてまいります。よろしくお願い申し上げます。